

様式4

令和5年度 学校運営協議会評価報告書1

鳥取県立白兔養護学校

学校長 中西 美千代

評 価 日	令和5年6月20日（火）
評 価・提 言	学校の所見・改善策
1 目標設定について ○今年度の学校運営等 (1) 学校経営方針について ・社会参加と人との関わりは続けてほしい。 (2) 学校自己評価について ・これからも子どもたちのために何ができるかをもに考えることができる間柄でありたい。 (3) 地域学校協働活動について ・地域の方へ取組の意義について理解を進める努力が必要。 2 評価項目と目標達成のための取組について (1) 学校経営方針について (2) 学校自己評価について ・一貫したカリキュラムになっていると感じる。 (3) 地域学校協働活動について ・地域の教育課題を重点に ・コロナ禍で疎遠になったり、人が集まらなくなったりしている状況への対応は時間が必要。 3 具体目標について ・ICTの取組はどんどん進めてほしい。（オリヒメの活用には補助金がある） ・ICTの活用は子どもに合った活用にしてほしい。 ・単一障がい、重複障がいは社会に出たら関係ない。一緒にできる工夫は難しいかもしれないが、どう	⇒学校教育目標と基本方針、重点目標、概要を説明。 ⇒重点目標(評価項目)ごとの現状と達成方策説明。 ⇒地域社会とのつながりの実施計画、新たな活動について説明。 ⇒ICT活用の取組と地域との連携についての取組を多く取り入れている。 ⇒昨年度より地域に出かける機会を増やしていく。 ⇒ICT活用の取組については、高等部生徒の一人1台端末の購入による取組を進めつつ、小中学部の取組との連携を進める ⇒本年度の計画内容について工夫して実施する。

すれば一緒に社会に出られるか工夫してほしい。 ・様々な学びの場の提供を工夫してほしい。学校間交流などの体験の充実も意識してほしい。白兔よろずやなどもっと地域に出て行けばよいと思う。 ・働き方改革について、ICT の活用が進められる部分と人でないとできない部分もある。事務的な作業な見直しは一つの方法か。 ・働き方を考えた場合、先生には休憩があるようではないと思う。ICT の業務活用を進めることも大切。 ・教員も ICT 活用を進めることで働き方改革にもつながる。 4 目標達成のための具体方策について ・ICT のリスクを学ぶことも必要（アプリを使って通帳から年金を引き出される事例もあった） ・健康管理も視野に入れてほしい。ダウン症の子どもは 50 年生存と聞いたことがあるが、30 代前半で認知症になるケースがある。自分で健康管理ができることも必要。 ・教員志望の人が減っている中、職員を育てることが教育やサービスの向上につながる。 ・働きやすい職場、いい職場づくりを。 5 その他 ・令和 6 年度教科用図書について	・ICT を活用した業務効率化を工夫する。 ・時間外勤務の削減については目標の下方修正を行う。 ⇒社会の実態を踏まえた具体的な取組を意識する。 ⇒多数の提言や感想をふまえ、活動を工夫していく。 ⇒選定について説明 提案どおり承認
---	--